

金曜

## 旧約釈義：エゼキエル書を読む

講師 日高 嘉彦

毎週金曜日 18:30~20:30	学習テーマ及び内容
1 10月13日	I. 序論、はじめに、エゼキエル書について
2 10月20日	歴史的背景：ユダ王国末期と三回のバビロン捕囚
3 10月27日	エゼキエル書の構成と文体
4 11月10日	預言者の歴史、エゼキエル書の神学
5 11月17日	II. 本論、神の幻 1章（10章）
6 11月24日	エゼキエルの召命 2-3章
7 12月1日	エルサレム包囲（象徴行為）4-5章
8 12月8日	神の栄光が神殿を去る 10-11章
9 12月15日	「酸いブドウと子どもの歯」（個人倫理）18章
10 1月12日	背信の歴史（歴史の回顧）20章
11 1月19日	エジプトへの審判（修正された預言）29章（26-27章）
12 1月26日	イスラエルの牧者 34章
13 2月2日	「枯れた骨」の幻 37章
14 2月9日	新しい神殿の祭司（祭司とレビ人）44章
15 2月16日	嗣業の再分配：新しいイスラエル 47-48章

※2月2日・9日は授業日変更予定あり

### テキスト／参考書

テキスト：講師は「聖書・協会共同訳」を使いますが、受講生はどの訳書でも構いません。  
参考書：講義の中で紹介します。

### 参加費（1講座につき）

- 一般の方（及び聴講生）：受講料 30,000 円
- 本科生：受講料 25,000 円  
\*通信受講は+5,000円の通信事務費が必要です。  
\*なお、卒業生・後援会会員・連盟加盟教会牧師・理事・教師の受講料は半額（15,000円）です。
- 後援会受講：受講料 17,500 円  
（通信事務費含む、但し単位取得はできません）  
\*後援会会員になるためには「年会費 5,000 円」が必要です。

詳細は神学校ホームページにてご確認ください。



tbts.jp 検索

### 教会共同受講・参加費

- 受講料 15,000円 + 後援会年会費 5,000円（牧師・主事・卒業生は免除）  
\*教会共同受講は原則2名以上です（通信事務費免除）。受講は公開講座に限ります。



東京バプテスト神学校  
2023年度 後期

## 「公開講座」開催のご案内

月曜

### 「キリスト教倫理 II ～どう生きる、聖書～」

講師 吉田 真司 他

キリスト教倫理、それは「キリスト教信仰に基づいてどう生きるか」ということ。すなわち「生き方」への招き・促しである。「教会」は決して世と隔絶した空間ではない。世界のただ中に立つ存在である。その世界に厳然としてある諸課題・問題に向き合う各特別委員会の宣教の視点（聖書をどう読み）と取り組み（聖書にどう生きるか）を通して学び、問われて、それぞれの教会の宣教課題として捉えて欲しい。それぞれの委員会の取り組みに関して言えることは、いずれも人間の生命や生存権、人権に関す

る取り組みであり、「人間を人間として見る」差別なき社会の実現というビジョンが共通している、ということである。  
「自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられた」（フィリピ 2：7）イエス・キリストの生き様に倣い、その福音を生きていく者へと共に招かれる、そんな実践神学となることを期待する。



靖国神社問題特別委員会 / 公害問題特別委員会 / 日韓・在日連帯特別委員会 / 部落問題特別委員会 / 障がい者と教会委員会 / ホームレス支援特別委員会 / 性差別問題特別委員会 / ハラスメント対策委員会

火曜

### 宗教学：日本の宗教性とキリスト教

講師 石田 学（日本ナザレン教団）

人だけが神を想い、死後について思索し、自らの存在の意味を問います。その意味で、宗教性は全人類に共通する特質だと言えるでしょう。しかし、宗教性はそれぞれの文化、歴史、風土、社会などにより、多様な形態で具現化してきます。わたしたちはこの講座で、日本における宗教性の特徴と、その現れとしての天皇制の問題を考察します。そのうえで、なぜ日本でキリスト教が受容されにくいのかを、宗教性についての視点から考えてみま

しょう。最後に日本社会においてキリスト教はどのような使命と可能性を持つかを義論したいと思います。講座はパワーポイントを用いたプレゼンテーション形式でおこない、毎回の最後に質疑応答・懇談の時間を取ります。



金曜

### 旧約釈義：エゼキエル書を読む

講師 日高 嘉彦

エゼキエルは時代の終焉に立ちつつ、その先にある始まりに目を注ぎ続けた預言者でした。また宗教社会学者 M.グーバーは、祭司が既存の組織・秩序を守る保守的な立場を取るのに対し、預言者は既存のものを批判し破壊する革新的立場を取ると説明しています。しかし、エゼキエルは祭司と預言者という相矛盾する役割を自身の中に体現した希有の人物でした。破壊と創造、死と復活という相容れない裂け目の中に身を置き続けたエゼキエルは、従来の預言者とは一線を画すユニークで破天荒な性格を持っており、そのために私たちの理解を難しくし、それだ

けに私たちが魅了し続けています。この講義では、序論ではユダ王国末期から捕囚時代の歴史を通して『エゼキエル書』を理解し、本論では主要な章を読み解きます。なお1回から6回までは講義を中心に、7回から15回は在学生による発表と講師や受講生との対話を通じて授業を進めます。なおカメラはオンにして下さるようお願いいたします。



※後援会受講であれば、公開講座以外の一般課目も半額で受講できます（単位取得なし）。詳細は神学校ホームページよりご確認ください。

【月】新約聖書概論（講師：坂元俊郎）【火】組織神学Ⅰ（講師：朴思郁）【木】ギリシャ語を学ぼうⅡ（講師：城倉啓）【木】礼拝学Ⅰ（講師：藤井秀一）【金】牧会学（講師：友納靖史・松村誠一）

申込締切日 2023年10月2日（月）

お問合せ

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 東京バプテスト神学校事務局(茗荷谷キリスト教会3階)  
● TEL.03-3947-5141 ● FAX.03-3947-5145 ● E-mail seminary@tbts.jp

月曜 **キリスト教倫理Ⅱ ～どう生きる、聖書～** 講師 吉田 真司 他

毎週月曜日 18:30~20:30	学習テーマ及び内容	担当委員会 (講師)
1 10月16日	オリエンテーション	吉田真司
2 10月23日	戦前・戦中に日本の軍国主義政策を精神的に支えてきた靖国神社は、敗戦後もなお保守的な国会議員によって「特別」な宗教・施設として取り扱われている。反戦・平和の視点だけでなく、人々の思想や信仰に大きな影響を及ぼすこの課題に、キリスト教信仰の観点から考えていく。教会形成・人間理解としての観点も含めていく。	靖国神社問題特別委員会 (松藤一作)
3 10月30日		
4 11月6日	①「公害」とは何か。何故教会が「公害」を考えるのかその聖書的視点と根拠について	公害問題特別委員会 (野中宏樹)
5 11月13日	②日本の公害事件「足尾」「水俣」「核発電」について	
6 11月20日	いま日本で暮らす『外国人』は307万人以上、また『外国にルーツを持つ日本国籍の民族的少数者』の数も115万人以上となる(外国人権法連絡会『日本における外国人・民族的マイノリティ人権白書』2023年)。本講義をとおして、日本における外国人・民族的マイノリティの歴史と現在について知り、東アジアにおける私たちの生き方を探る。同時に、これらの人権課題からいかに聖書を読むかについて考えていく。	日韓・在日連帯特別委員会 (村田悦)
7 11月27日		
8 12月4日	「あなた(わたし)にとって部落差別とは何か」「なぜキリスト教会は被差別部落解放に取り組むのか」。これらは教会の内側からも外側からも発せられている問いです。①部落差別の歴史と現在 ②部落問題特別委員会の歩み ③「聖書と差別」を切り口に学び、問いについて考えます。皆さんの教会における具体的実践についても語り合います。(参考書一覧は当日資料として配布)。	部落問題特別委員会 (秋山義也)
9 12月11日		
10 1月15日	人生100年時代と言われる現代、誰もがやがて身体及び認知機能の低下により「障がい者」になりうる。しかし、「障がい者」とそうでない者としての分断と差別は、どうして起こってしまうのか。聖書を見つめながら考えてみたい。	障がい者と教会委員会 (水野英尚)
11 1月22日	過去20年においてホームレス問題は官民上げての取り組みが功を奏し、ホームレスの数自体は減少している。しかし日本における生活困窮の問題は深刻さを増し、3年にわたるコロナ禍が深刻さを加速させた。今回はホームレス支援における基本的な事柄と実際の支援状況について紹介し、伴走型支援についても考える。	ホームレス支援特別委員会 (麦野達一)
12 1月29日		
13 2月5日	教会で何気なく交わされる言葉や態度、聖書の読み方の中に性差別はないでしょうか? 具体的事例を紹介しながら、性差別の本質に迫ります。委員会の私たちが正解を持っている訳ではありません。教会の中にある性差別について一緒に考えます。(参考書: 当委員会作成の冊子『ようこそ教会へ わたしたちは大丈夫?』)	性差別問題特別委員会 (今井朋恵・吉田尚志)
14 2月12日		性差別問題特別委員会 (今給黎真弓・中條譲治)
15 2月19日	連盟では2005年からハラスメント問題に取り組んできました。「ハラスメントとはどういうことか」「なぜ教会でハラスメントが起こるのか」「ハラスメントを起こさないリーダーシップのあり方、教会のあり方」を考えます。	ハラスメント対策委員会 (城倉由布子)

テキスト/参考書

当日講義資料として配布予定

火曜 **宗教学:日本の宗教性とキリスト教** 講師 石田 学

**講義予定表**

- 後期始業礼拝: 10月6日(金)
- オープンウィーク: 10月10日(火)~10月16日(月)
- 【休講日・祝日】 ● 冬期休講: 12月18日(月)~1月5日(金)
- 10月9日(月)、11月3日(金)、11月23日(木)、1月8日(月)、2月23日(金)

毎週火曜日 18:30~20:30	学習テーマ及び内容
1 10月10日	宗教とはなにか: 宗教性と宗教、世界観について考える
2 10月17日	世界の宗教: 世界観を構築する要因としての宗教
3 10月24日	日本における宗教と宗教性、世界観の衝突
4 10月31日	なぜ日本でキリスト教は広まらないのか
5 11月7日	真の霊性を求めて: 日本的霊性とキリスト教の霊性
6 11月14日	天皇制とはなにか: 歴史と神話と戦後
7 11月21日	天皇制に内包された宗教性
8 11月28日	時代の転換期におけるキリスト教の使命
9 12月5日	日本におけるキリスト教の歴史: 三つの時代を考える
10 12月12日	キリスト教の伝統と教派: エキュメニズムへ
11 1月9日	日本における福音宣教の現在と未来
12 1月16日	平和を告げる共同体としての教会: 三一論からの考察
13 1月23日	共同体的伝道論
14 1月30日	宗教と社会: 宗教の内に潜む問題とキリスト教
15 2月6日	まとめと懇談

参考書

石田 学『日本における宣教的共同体の形成 使徒信条の文脈的注解』新教出版社  
越川 弘英 編著、石田・松田・鈴木・濱野 著『宣教ってなんだ?』キリスト新聞社

後援会の会費が **月々500円から** ご支援いただけるようになりました。

ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。

スマホやタブレットからもお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

◀ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)